

# 宮城県本吉郡志津川町

## 五日町における祝言のあいさつ

大西拓一郎

### ○はじめに

1. 対象地の地理的環境：リアス式の南三陸沿岸に位置する。昭和35年のチリ津波では大きな損害を受けている。宮城県最北部の気仙沼市から南へ約15kmほど、仙台市からは直線距離で70kmほどのところ。
2. 対象地の社会的経済的環境：良質の漁港があり、漁業が中心、ホヤ、タコ、サケが特産。山間部では農業も盛ん。
3. 生業：2に同じ。但し、話者はもとは農業も。
4. 交通：JR気仙沼線が通り（昭和52年開設）、現在は仙台市や気仙沼市との往来も便利になったが、それまではバス便のみで、陸の孤島と呼ばれていた。
5. 人口：1万6千人（志津川町）
6. 調査年月日：1990年9月1日  
午後2時から4時まで
7. 方言話者：佐藤久六 大正7年6月生まれ（72歳）
8. 調査者：大西拓一郎  
調査場所：話者自宅
9. 調査方法：面接による質問法

### I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人（新婦の父親）に向かって、どのようなあいさつをしますか。

○「ホン」ジツワ マ「ズ オヒガ」ラ「モ ヨロス」ク ケツ「コー」デ ゴザイマス。本日はまず、お日柄もよろしくて結構でございます。

○ヤマモ「ト」ケト ササ「キ」ケノ 「エン」グミ ブジ トトノイ「マ」シテマコ「ト」ニ オメデ「ト」ー ゴザイマス。山本家と佐々木家の縁組、無事整いまして誠にめでとうございます。

○ツキマステ「ワ ヤマモ」ト「ケ」ヨリ ユイノーニ マイリ「マ」スタ。つきましては山本家より結納に参りました。

○オシラベノウ「エ ドーゾ」ヨロス「ク オネガイ」スマ「ス。 「イ」クヒサ「

シク オオサメクダサイ。 お調べの上どうぞよろしくお願ひします。幾久しくお納め下さい。

2. その家の主人(新婦の父親)は、仲人に応じて、どのようなあいさつをしますか。

○「ホン」ジツワ マコ「ト」ニ ゴク「ロ」ーサマデ ゴザイマス。 本日は誠に御苦労さまでございます。

○タス「カ」ニ チョーダイ イタス「マ」スタ。 確かに頂戴いたしました。

○ユイノーノ カ「ズ」カズ 「イ」クヒサ「ス」ク オウケ「イ」タスマ「ス」。

結納の数々幾久しくお受けいたします。

3. その時の新婦のあいさつがあれば記して下さい。

<NR 新郎も新婦もそこには居あわせない。>

## II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決った家の人に道で出合つて、近所の人たちはどのようなお祝いのあいさつをしますか。

○コノ「タ」ビワ オメデ「ト」ー モースア「ゲ」ス。 この度はおめでどう申し上げます。

2. 嫁をもらう家の方は、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○「ド」ー「モ」ド「ー」モ オカゲ「サン」デ ゴザリア「ス」。 どうもどうもお蔭様でございます。<結婚式に呼ばない人にはこれだけ、呼ぶひとには続けて

> ○マ「ズ」マズ ~サン「ニ」 アスハダ「ゴ」 カイテ「モ」ラ「ツ」テ ヤツ「ト」キマリ「ア」スタ。 まずまず、~さんにこまめに(足しげく)世話して(とりもつて)もらつてやつと決りました。

○マ「ー」 トーズ「ツ」ワ オズ「ゲ」ア「ー」 アゲ「ヤ」スカラ ドー「ゾ」 オン「チ」ステ クナ「イン」。 まあ、当日は御案内状をさしあげますのでどうぞいらつして下さい。

## III. 嫁を出すことが決った家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁を出すことが決った家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつ

をしますか。

○イヨイ「ヨ」 ハナ「スア」 キマツ「タ」スケネア「ス。 いよいよ話が決ったんですね。

○～トハナ「スア」 キマツ「タ」スケ ヨ「ガ」ッタネー。 ～と話が決った  
そうで良かったねえ。

○アリヤ 「エー」 ワ「ケア」モンデ ガス。 あれはいい若者でございます。

2. 嫁を出す家の方は、そのあいさつに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○ア「リ」ガトー ゴザリ「ア」ス。 ありがとうございます。

○オカゲサン「デ」 オ「ラ」エノ ムスメ「モ」 キマリアス「タ。 お蔭様  
でうちの娘も結婚が決りました。

○ソン「ト」ギア 「マ」ズ オズ「ゲア」モ アゲ「ヤ」スカラ オヒマダレ「  
デ」モ オンナス「テ」 クナ「イン。 その時はまず、案内もさしあげますの  
で時間を潰すことになってしまいますが、いらっしてください。

#### IV. 結婚式当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たちは（親戚以外）、どのようなあいさつをしますか。

1. 新郎の父親にどのようなあいさつをしますか。

○キヨ「ー」 オメデトウ ゴザイ「マ」ス。 「マ」ズ コンデ オメモ  
カ「ダ」ノニ ヒトツ オ「ズ」ダナ。 コンデ ヒト「アン」シンダネ。 今日  
はおめでとうございます。まず、これでお前も肩の荷が一つ降りたな。これ  
で一安心だな。〈親しい友人から父親へ〉

1-2. 父親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○「マ」ーズマーズ ミナサンノ オカゲサンデ ゴザリ「ヤ」スタ。 「マ」  
ーマー オ「ラ」エノ ヨメモラツ「タ」ツテタツテ マダ ワ「ケア」 モンダ  
カラ ミン「ナ」デ ヨロスグ ミ「テ」クナ「イン。 まずまず、皆様のお蔭  
様でございました。まあまあ、うちの息子が嫁をもらったといつても、まだ  
若者だから皆でよろしく面倒を見て下さい。〈父親から客一般へ〉

○マー 「キヨ」ー「ワ センセー オツケア モーシアゲ「ヤ」シタトコロ

オイデニ「ナ」ッテ イタダイ「テ マコトニ アリ「ガ」トー ゴザイ「マ」ス。 オカゲサンデ オ「ラ」エノ ムスコ「モ」 ヤット ミー カタメル「ヨ」ー ナツタカ「ラ」 「コン」ゴモヒトツ ヨロスク オネゲア スツス セン「セ」。 まあ、今日は、先生、ご案内申し上げましたところ、いらっして下さって誠にありがとうございます。お蔭様で、うちの息子もやつと身をかためるようになったので、今後もひとつよろしくおねがいます、先生。  
〈父親から新郎の先生へ〉

○「マ」ズ「マ」ズ ヨロスク タノミ「ヤ」ステ。 オ「ラ」エノ ヤット ケツコン「ス」キ アゲヤ「ス」テ アン「ダ」 ナニカニ メン「ド」ーミテ ク「ナ」インヤ。 イ「マ」カラ ヨロスク ゴスドー タノミ「ヤ」ス。 まずまず、よろしくたのみますよ。うちの息子もやつと結婚式をあげまして、あなたも何かにつけて、面倒見て下さいよ。これからは、よろしく御指導を頼みます。  
〈父親から新郎の既婚の友人へ〉

○「マ」ズ オ「ラ」エノモ キマツ「タ」カラ アン「ダ」モ ハ「ヤ」グ サガサ「イン」。 まず、うちのも決ったから、あなたも早くさがしなさい。〈父親から新郎の未婚の友人へ〉

## 2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

○セツカ「ク」 オ「ガ」スタ ス「ス」ノコ 「タ」ー「ダ」 ヨゴツチヨ「カ」ラ サ「ラ」エ「タ」「ナ」ヤ。 せつかく育てた大切な子供（鹿の子＝大切なもの）ただで横からさらわれたねえ。〈親しい父親の友人から父親へ〉

○「マ」ー「マ」 「キョ」ー「ワ」 ホン「ト」ニ オメデ「ト」ー「ゴ」ザリ「ヤ」ス。 アン「ダ」モ 「コン」デ ホット「スル」ネ まあまあ、今日は本当におめでとうございます。あなたもこれでほっとするね。〈一般の客から父親へ〉

### 2-2. 父親はそれに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○「キョ」ー「ワ」 イソガ「ス」ー トコ 「キテ」イタダイ「テ」 「ド」ーモ「ド」ーモ アリガト「ー」 ゴザリ「ヤ」ス。 オ「レ」モ 「キョ」ー「ノ」 オフルメア「デ」 「ア」ド「ア」 オ「ワ」リ「ダ」ガラ ホット ス「タ」ヤ。 今日は忙しいところ、来ていただいて、どうもどうもありがとうございます。私も今日のおふるまい（宴席）で後は終わりだからほっとしたね。〈父親から父親の友人へ〉

○「ドー」モ セン「セー」ニワ オセワニナリ「マ」スタ。ヨロスク オネ  
ガイス「マ」スタ。どうも、先生にはお世話になりました。よろしく願ひ  
ます。〈父親から新婦の先生に〉

○「ドー」モ 「アリガトー」 ゴザイ「マ」スタ。ヨロスク ス「ドー」 ステ  
「クダ」サイ。どうも、ありがとうございます。よろしく指導して下さい。  
〈父親から新婦の既婚の友人へ〉

○アリガトー「ゴザイ」マスタ。アン「ダ」モ ハ「ヤ」グ エーヒト ミツ  
ケ「デ」 ケツ「コン」 スナ「サイ」。ありがとうございます。あなたも早く良  
い人を見つけて結婚しなさい。〈父親から新婦の未婚の友人へ〉

#### V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所へあいさつをして回る時、姑はど  
のようなあいさつをしますか。

2. そのあいさつに応じて、近所の人にはどのようなあいさつをしますか。

<NR. 結婚式後に姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る習慣が無い。>

#### VI. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男(29歳)に嫁をもらった60歳台の父へ、結  
婚式に招かれた50歳台の女性が、昼下がりの路上で、どのようなお祝いの  
あいさつをしますか。

○セン「ズ」ツワ オツ「ケ」ア イタダキ「マ」ステ アリガ「トー」 ゴザイ  
「マ」スタ。先日は案内状をいただきましてありがとうございました。

○ホン「ト」ニ コンタ「ビ」ワ オメデ「トー」 ゴザイマスタ。本当に  
この度はおめでとうございました。

2. 父親はそれに応じてどのようなあいさつをしますか。

○イ「ヤ」イヤ オヒマダレ「カ」ゲ「テ」 モーシワ「ケ」 ゴザリヤ「セン」。  
アリガ「トー」 ゴザイマスタ。いやいや、手間暇をお掛けして申し訳あ  
りません。ありがとうございました。

○「マ」ズ ワ「ゲ」ア ヒトタツノ コツ「ダ」ガラ ヨロスク ナニカニ  
スドーステ「クナ」インヤ。まず、若い人たちのことだから、よろしく何

かと指導して下さいよ。

## Ⅶ. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦（あるいは両親）がお礼に行った時、どのようなあいさつをしますか。

○コノタ「ビワ」 「ドー」モ アリガトー ゴザイ「マ」スタ。 この度はどうもありがとうございました。〈新郎新婦から仲人へ〉

○イヤ コノ「タ」ビワ「」 「ドー」モ エライ オ「セ」ワニ ナリ「マ」ステ アリガトー「」 ゴザイ「マ」スタ。 オカゲサンデ「」 ゴザイ「マ」スタ。 いや、この度はどうも大変お世話になりました。ありがとうございました。お蔭様でございました。〈両親から仲人へ〉

2. 仲人は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ヨカツ「タ」「ネ」ー 「マ」ー「マ」ー フタ「リ」デ イッショー「ケ」ン「メ」ー ヤ「ラ」イン「ヨ」。 よかったねえ、まあまあ二人で一生懸命やりなさいよ。

○マ「ー」マ「ー」 「ズ」イ「ブ」ン オレモ イッショー「ケ」ン「メ」ー ヤッタゲン「ト」モ アンダ「ダ」ズミデアナ ニアイノ フ「ー」フモ スケ「ネ」ア「カ」ッタカラネー。 まあまあ、私も一生懸命やったけれども、あなたたちみたいな似合いの夫婦も少なかったからねえ。

○「イ」ー フ「ー」フニ ナ「ラ」イン「ヨ」。 良い夫婦になりなさいよ。  
〈以上は仲人から新郎新婦へ〉

○「マ」ー「マ」ー ワダステ ヤ「グ」ニ タツテ ヨガ「ス」タネー。 まあまあ、私で役に立ってよかったですね。

○ナニカニ ナゴ「ー」ド「ト」ステワ イタラ「ネ」ア「カ」ッタケド 「ト」ニカクブジ ツトメア「ゲ」タツツ「ー」コド「ワ」 ケツ「コ」ー「ナ」 コツテ ゴザリ「ヤ」ス。 何かと仲人としては、いたらなかったけれども、とにかく無事につとめあげたということは、結構なことでございます。

○タイヘンニ 「チョー」ダイ「」 イタスマ「ス」テ ド「ー」モ アリガトー ゴザイ「マ」スタ。 マ「ズ」マ「ズ」 オヒガラモ 「ヨ」ク ケツ「コ」ー「デ」 ゴザ「リ」スタネ。 大変に多くの（お礼金を）頂戴いたしまして、どうもありがとうございました。まずまず、お日柄もよく、結構でございましたね。

○オ「ト」ー「サン」 コンデ ホツ「ト」ス「テ」 カ「ダ」ノニ オ「リ」タンデ ネ

アノ「カ。 お父さんはこれでほっとして、肩の荷が降りたのではないですか。〈以上、仲人から両親へ〉

#### 四. 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、嫁ぎ先の親に、どのようなあいさつをしますか。

○「デ「ワ オ「ト「ーサン イカセテモラ「イマス。 ではお父さんいかせてもらいます。

2. 両親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○キーツ「ケ「テ イツテ「コ「イヨ。 イツテ オ「ト「ーサンサ ヨロスク「ナー。 「イ「ズ 「ケア「ツテ クンノ「ヤ。 気を付けて行ってこいよ。 行ったらお父さんによろしくな。 いつ帰ってくるのだ。

#### \* 表記について

- ① 「は音調の上りを、「は下がりを示す。
- ② カ行音、タ行音の語中での有声化は認められるが、読みやすさを配慮して、必ずしも表記には出していない。特殊環境以外のそれらについては有声化するものと見られたい。
- ③ 分かち書きはおおむね文節で切っているが、正確にあてはめているものではない。
- ④ 文の切れ目で改行した場合とそうでない場合とがあるが、これも、読みやすさを優先したままで、それ以上の意味の有るものではない。改行したのも前の行と続けて発話されているものとみなされたい。
- ⑤ カタカナで示した会話例の「。」は、文の末尾を示すもので音声とは無関係であることはいうまでもない。

(おおにしたくいちょう・国立国語研究所)